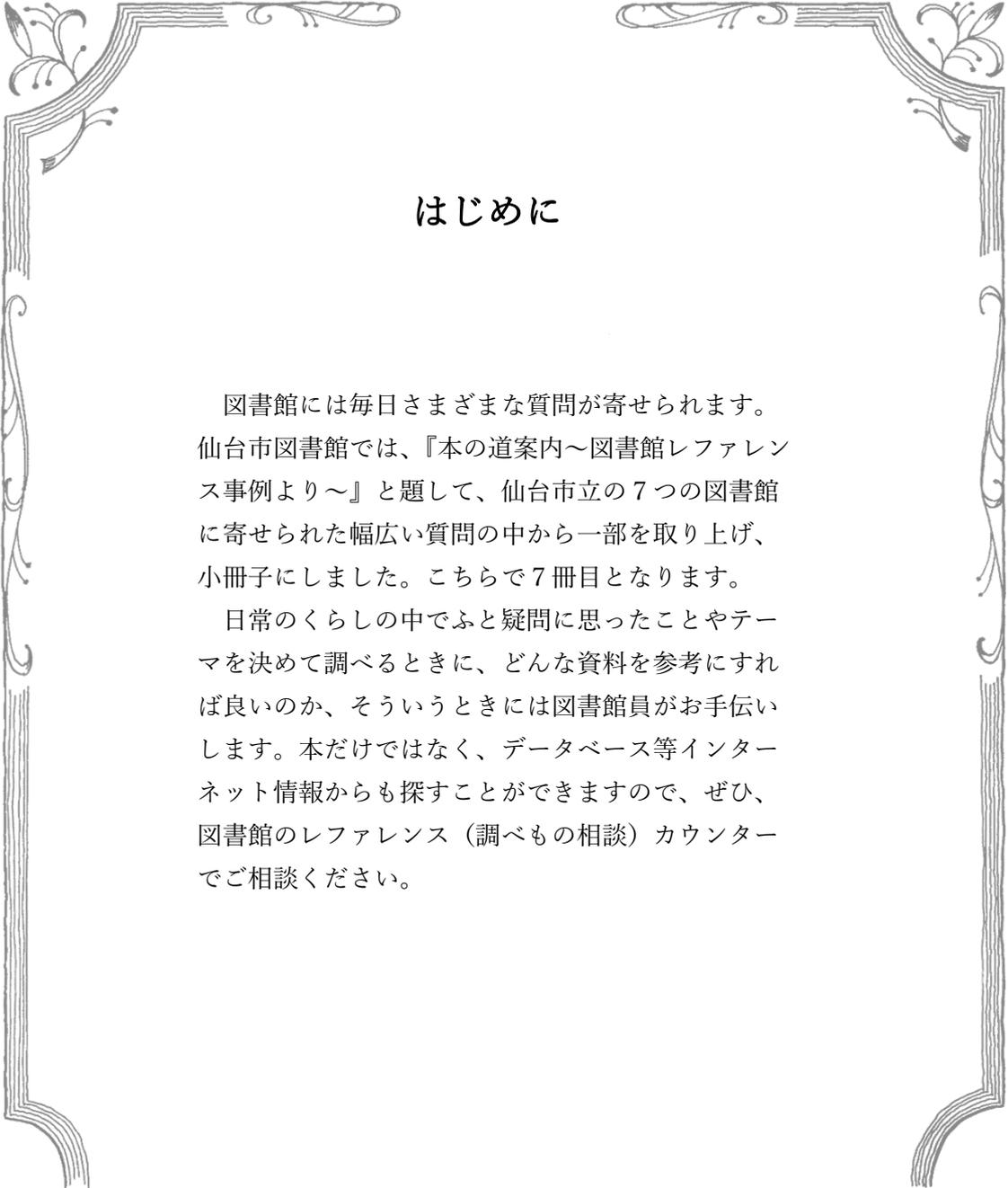




仙台市図書館 2022 vol.7

本の道案内

図書館レファレンス事例より



はじめに

図書館には毎日さまざまな質問が寄せられます。仙台市図書館では、『本の道案内～図書館レファレンス事例より～』と題して、仙台市立の7つの図書館に寄せられた幅広い質問の中から一部を取り上げ、小冊子にしました。こちらで7冊目となります。

日常のくらしの中でふと疑問に思ったことやテーマを決めて調べるときに、どんな資料を参考にすれば良いのか、そういうときには図書館員がお手伝いします。本だけではなく、データベース等インターネット情報からも探すことができますので、ぜひ、図書館のレファレンス（調べもの相談）カウンターでご相談ください。

目 次

| | |
|---|----|
| 1928年（昭和3年）のパリ条約の内容が知りたい。 | 1 |
| アレクサンダー・フレミング、エルンスト・チェーン、ハワード・フローリーの 3人について書いてある本を知りたい。 | 2 |
| きびそ（生皮苧）糸の特性やどんな作品に向いているかを知りたい。 | 3 |
| サルは色をどこまで認識しているか。 | 4 |
| スイカのしましまはなんであるの？ | 5 |
| 子どもの頃に読んだものと同じ本をもう一度読みたい。 | 6 |
| 「一隅を照らす」とは誰の言葉か。 | 7 |
| 江戸時代の藩と現在の地図を比較したい。日本地図で藩を一覧できるものはある か。（対象は小学3年生） | 8 |
| 「七 <small>しち</small> 仏 <small>ぶつ</small> 通 <small>つう</small> 戒 <small>かい</small> 偈 <small>げ</small> 」に出てくる過去七仏の名前を知りたい。 | 9 |
| 「ナミノハナ」という言葉をなぜ「波の花」と表現するのか。 | 10 |
| 夜にセミが鳴く習性について書かれた本はないか。 | 11 |
| アンペラ（筵 <small>むしろ</small> ）の語源が知りたい。 | 12 |
| 水は透明だが、海や川の水の色が青く見えるのはなぜか知りたい。 | 13 |
| 蹲 <small>つくばい</small> 踞 <small>ちようずばち</small> 作法と手水鉢の種類について知りたい。 | 14 |

郷土に関する質問

| | |
|--|----|
| 現在の太白区中田にあった前田村の範囲（所在地が分かる地図）を見たい。 ... | 15 |
| 過去に河北新報の書評で紹介されていた本の元本を読みたい。 | 16 |
| 「仙台七崎(ななさき)」の現在の場所がわかるものを見たい。 | 17 |
| 「将監沼」について知りたい。できれば等高線や地図もあるとよい。 | 18 |
| 仙台城に飾っていた門松の絵が見たい。 | 19 |
| 歌人の ^{おうぎはただ} 忠雄 ^お が作詞した校歌について知りたい。 | 20 |
| 河北新報掲載記事の「オツツ祭り」について知りたい。 | 21 |
| 良覚院丁公園を守るために都市計画道路をずらした経緯を知りたい。 | 22 |
| 東京の神田川沿いにある「センダイポリ（仙台堀）」について。 | 23 |
| 福島の方言かと思われる「はばはば」という言葉の意味について。 | 24 |
| 宮城県内の狼の生息が最後に確認されたのはいつ頃か。 | 25 |
| 仙台藩としては珍しいコースを辿った、安永九年の参勤交代の帰りの経路がわかる記録を探している。 | 26 |
| 「仙台市民歌」について、歌詞や楽譜が見たい。 | 27 |
| 白洲次郎の東北での功績について知りたい。 | 28 |
| 大崎八幡宮のどんと祭と裸参りについて知りたい。 | 29 |
| 宮城野にあった「鈴虫壇」とはどのようなものだったのか。 | 30 |

過去の事例集目次

1928年（昭和3年）のパリ条約の内容が知りたい。

答

パリ不戦条約は、アメリカの国务長官ケロッグとフランスの外相ブリアンの提唱により、1928年8月、パリで調印された戦争放棄に関する条約。日・米・英・仏などの原加盟国15か国が調印し、その後63か国が参加した。戦争の違法性を確定した最初の実定国際法。正式名称は「戦争放棄に関する条約」。「ケロッグ-ブリアン条約」ともよばれる。

回答プロセス

パリ条約とよばれる条約はいくつかあるが、利用者がはっきりと年を指定していたので、インターネットで年号とともに検索すると「パリ不戦条約」のことだとわかった。蔵書検索システムで「パリ不戦条約」と検索すると『日本国憲法』がヒットし、p81-p85に条文が記載されていた。さらに国立国会図書館のレファレンス協同データベースを検索すると、似た事例があり、『国際条約集 2020年版』p674-p675にも載っていることがわかった。

参考資料

『日本国憲法』長谷部 恭男／解説 岩波書店 2019年

『国際条約集 2020年版』岩沢 雄司[ほか]／編集代表 有斐閣 2020年

オンラインデータベース

「ジャパンナレッジ」（総合辞典・事典データベース）

参考サイト

レファレンス協同データベース（国立国会図書館）（2021年10月8日アクセス）

<https://crd.ndl.go.jp/reference/>

『不戦条約、ハーグ陸戦条約を読みたい。どのように探せば良いか』

アレクサンダー・フレミング、エルンスト・チェーン、
ハワード・フローリーの3人について書いてある本を知りたい。

答

個々の経歴、業績については『ノーベル賞受賞者業績事典』、『科学者人名事典』で確認できる。ペニシリンを発見したフレミングについて書かれた資料は多いが、他2人について記述のある資料は少ない。その中でも『奇跡の薬』は3人について詳しい。『ペニシリンはクシャミが生んだ大発見』、『偶然の科学誌』は、10～20 ページ程度の記述だが、コンパクトにまとめられている。

回答プロセス

オンラインデータベースのジャパンナレッジで各人を検索したところ、3人ともヒットした。

アレクサンダー・フレミング…イギリスの細菌学者。ぶどう球菌の培養皿に生えたアオカビからペニシリンを発見し、1945年ノーベル生理学医学賞を受賞した。

エルンスト・チェーン…イギリスの生化学者。抗生物質を研究、ペニシリンの療法を確立した。1945年フレミング、フローリーとともにノーベル生理学医学賞を受賞した。

ハワード・フローリー…イギリスの病理学者。ペニシリンの有効性を確認し、その精製と量産化に貢献した。1945年ノーベル生理学医学賞を受賞した。

ペニシリンの発見、精製等の功績から、1945年ノーベル生理学医学賞を受賞したことが分かったので、『ノーベル賞受賞者業績事典』をあたるとともに、ペニシリンについて書かれた資料を検索した。

参考資料

- 『ノーベル賞受賞者業績事典 全部門855人』 ノーベル賞人名事典編集委員会／編 日外アソシエーツ 2013年
『科学者人名事典』 John Daintith／[ほか原編]，科学者人名事典編集委員会／編 丸善 1997年
『奇跡の薬 ペニシリンとフレミング神話』 グウィン・マクファーレン／著 北村 二郎／訳 平凡社 1990年
『ペニシリンはクシャミが生んだ大発見 医学おもしろ物語25話』 百島 祐貴／著 平凡社 2010年
『偶然の科学誌』 井山 弘幸／著 大修館書店 1995年

オンラインデータベース

「ジャパンナレッジ」(総合辞典・事典データベース)

きびそ（生皮苧）糸を購入したが、特性やどんな作品に向いているかを知りたい。

答

きびそ（生皮苧）とは、蚕が繭を作る際に最初に吐き出す糸のこと。副産糸の一つ。製糸の際、繭の糸口を見つけるときにもつれた状態で引き出された緒糸^{ちよし}を乾燥させたもの。緒糸は絹糸紡績の原料とされるが、きびそ糸は、その緒糸を紡ぎだして糸にしたものである。その糸は生糸に比べると太くて不均一な節があり、独特の風合いを持つ。太くて硬い丈夫な糸だが、精練すると柔らかく光沢のある糸になる。たんぱく質のセリシンを豊富に含み、高い保湿力がある。手織りでのマフラーやストール、タペストリーなどを作るのに向いている。

回答プロセス

「きびそ」をキーワードとした蔵書検索では該当資料無し。辞典類から「きびそ」の意味を確認し、関連用語の「副産糸」、「緒糸」についても検索してみたが該当無し。改めて 486、586、630 などの分類の書架で探してみたが、詳しい記述のある資料は見つからなかった。インターネット検索に切り替えて調べてみたところ、下記の関連サイトから特性を知ることができた。独特の味わいのある糸で、手織りに向いているとのことから、『手織り大全』、『たのしい手織り』を提供した。

参考資料

『広辞苑（第七版）』 新村 出／編 岩波書店 2018 年
『日本国語大辞典 第4巻（第二版）』 小学館 2001 年
『手織り大全』 箕輪 直子／著 誠文堂新光社 2011 年
『たのしい手織り』 文化出版局／編 文化学園文化出版局 2019 年

参考サイト（2021 年 11 月 25 日アクセス）

「Kibiso tsuruoka silk」 [（山形県の鶴岡シルク株式会社が運営）](https://kibiso.jp) <https://kibiso.jp>

「問屋の仕事場から」（廣田紬株式会社公式ブログ）

<https://hirotatsumugi.jp/blog/3276>

サルは色をどこまで認識しているか。

答

生物が色を見分けられるのは、目の網膜にある色の違いを感じる錐体細胞という視細胞の働きによるもので、ヒトの場合は光の3原色である青、緑、赤の波長にそれぞれ反応する3種の錐体細胞があるため3色型色覚となる。哺乳類のほとんどは2種の錐体細胞しか持たないため、赤と緑の区別ができない「赤緑色盲」と呼ばれる2色型色覚である。錐体細胞の数の違いは染色体が関係していて、青を感じる錐体の遺伝子は7番染色体に、緑を感じる錐体と赤を感じる錐体の遺伝子はX染色体にある。

アイアイやキツネザルなどの原猿類の多くは2色型色覚だが、エリマキキツネザルのメスとシファカのメスは2本のX染色体をもっているなのでこの2種のメスの一部は3色型色覚になる。

中南米に生息するリスザルやホエザルやヨザルなど小柄なサルが含まれる広鼻類の色覚に関しては2009年時点で12種類の調査結果が判明している。それによると夜行性のヨザルは1種類の錐体視物質しか持たなかったが、ホエザルは3色型色覚であり、また他の種の場合はX染色体を1本しか持たないオスは2色型となり、X染色体を2本持つメスは2本のX染色体上の視物質遺伝子が同じときは2色型に、違うときは3色型になると報告されている。

ニホンザルやヒト、アジア・アフリカに生息するチンパンジー、ゴリラ、オランウータンなどの大型の類人猿が含まれる狭鼻類も2009年時点でオナガザル類18種、類人猿4種について調査されているが、すべてヒトと同じ3色型色覚だった。

回答プロセス

480 動物学の棚から『ヒトの见ている世界 蝶の见ている世界』を見つけ、巻末の参考文献に記載されている資料を探したほか、489 哺乳類の棚からサルについて書かれた資料にもあたった。

参考資料

『サル学なんでも小事典』 京都大学霊長類研究所／編 講談社 1992年

『新しい霊長類学』 京都大学霊長類研究所／編著 講談社 2009年

『人とサルの違いがわかる本』 杉山 幸丸／編著 オーム社 2010年

『ヒトの见ている世界 蝶の见ている世界』 野島 智司／著 青春出版社 2012年

スイカのしましまはなんであるの？

答

大地に根を張り自分の力で移動できない植物は、子孫そのものである種子を遠くまで散布することで分布を広げて繁栄してゆく。遠くまで散布する方法として多くの植物が採用しているのは、鳥に美味しい実を提供し食べてもらった種子を糞の中に紛れこませて遠くまで運んでもらうという方法だ。鳥の視覚はヒトのものと似ており色覚を持つため、鮮やかな色のものは鳥の目に強烈な印象を与える。鳥は赤色や黒色の実を好んで食べる傾向があるが、対比する2色という視覚的刺激で鳥の注意をひくことを「2色効果」と呼ぶ。

植物や果実がこのように色づくのは、美味しい実ができていることをアピールするためと考えられている。また、鳥に適した熱帯のような環境では果実を食べる鳥の個体数も多く種子も十分に散布されるが、個体数が少ない温帯や寒い環境下では植物はより目立った果実をつけることで鳥を引きつけようとする。

もともと砂漠地帯の植物であるスイカもその例外ではなく、縞模様も鳥に見つかりやすいように発達したという説がある。外皮の模様だけでなく、スイカの実が赤色なのは割れると目立ち鳥に発見されやすいから、実の中心部が最も甘いのは残さずに食べてもらうことで種子を無駄にしないためなど、様々な工夫をこらしている。

回答プロセス

蔵書検索システムにて自館所蔵に限定し「スイカ」で検索をしてスイカについて書かれた本を数冊確認するも模様の理由についての記載は見つからず、スイカの種についての本を見て答えになり得る記述を発見した。

参考資料

『種子はひろがる 種子散布の生態学』 中西 弘樹／著 平凡社 1994年

『種子たちの知恵 身近な植物に発見！』 多田 多恵子／著 日本放送出版協会 2008年

『スイカのタネはなぜ散らばっているのか タネたちのすごい戦略』 稲垣 栄洋／著 草思社 2017年

『トリノトリビア 鳥類学者がこっそり教える野鳥のひみつ』 川上 和人／監修 西東社 2018年

子どもの頃に読んだものと同じ本をもう一度読みたい。
昔話で、日照り続きで食べ物に困っている国に住む男が、禁制品になっている「からいも」の苗をよその国からこっそり持ち帰って…という内容の本だった。絵本ではなかったように思う。

答

探している本に該当するものは見つけれなかった。『からいもとどろぼう』（紙芝居）、『天草・本渡の民話』の2冊を類似資料として提供。

回答プロセス

「からいも」をキーワードとした蔵書検索で、紙芝居『からいもとどろぼう』の所蔵があった。内容を確認すると、肥後の国（熊本県）の昔話と判明。また、参考図書の『民話・昔話集内容総覧』で「からいも」を調べてみると、『天草・本渡の民話 語りによる日本の民話 9』に「唐芋」という話が収録されていることがわかった。どちらの資料も同じ内容で、主人公が太助とあったため、『日本の児童文学登場人物索引 民話・昔話集篇』も確認してみたが、上記2点以外の資料の記述はなかった。

インターネット検索に切り替えて調べてみたところ、下記のサイトから、昭和50年代のテレビアニメ『まんが日本昔ばなし』で「からいもと盗人」という話が放送されていたことが判明。当時、本の形態での出版もあったようなので、利用者に確認したところ、アニメの本では無かったと思うとのこと。その他の有用な情報を見つけることはできなかった。

参考資料

『民話・昔話集内容総覧』 日外アソシエーツ株式会社／編集 日外アソシエーツ 2003年

『からいもとどろぼう』 さえぐさ ひろこ／脚本 高部 晴市／絵 童心社 2018年

『天草・本渡の民話 語りによる日本の民話 9』 今村 義孝・今村 泰子／編著 国土社 1988年

参考サイト（2021年11月25日アクセス）

「まんが日本昔ばなし～データベース～」(個人で運営) <http://nihon.syoukokuai.com>

「一隅を照らす」とは誰の言葉か。

答

『仏教故事名言事典』にて言葉の意味を引くと、伝教大師の「山家学生式」に古人の言葉として出てくるものと記載あり。伝教大師とは、最澄のことを指す。

伝教大師の「^{きんげがくしょうしき}山家学生式」の中に「古人の言わく、「^{けいすん}徑寸十枚是れ^{あら}国宝に非ず、一隅を照らす、此れ^{すなわ}則ち国宝なり」と」とあるのに拠る。

回答プロセス

一般的な故事、名言、ことわざの辞典に当たるが記載なし。インターネットで検索すると、天台宗のHPに行き当たり、最澄の言葉ということがわかった。その後、『仏教故事名言辞典』や人物について調査した。

参考資料

- 『仏教故事名言辞典』 須藤 隆仙／著 新人物往来社 1995年
- 『国史大辞典 6』 国史大辞典編纂委員会／編 吉川弘文館 1985年
- 『日本仏教人名辞典』 日本仏教人名辞典編纂委員会／編 法蔵館 1992年
- 『事典 日本の名僧』 今泉 淑男／編 吉川弘文館 2005年
- 『山家の大師最澄』 大久保 良峻／編 吉川弘文館 2004年

参考サイト

天台宗公式ホームページ (2021年12月5日アクセス)

<http://www.tendai.or.jp/>

江戸時代の藩と現在の地図を比較したい。日本地図で藩を一覧できるものはあるか。(対象は小学3年生)

答

『ベーシックアトラス日本地図帳』に「江戸時代の日本」があり、日本地図に藩が記載されている。ただし、藩の領域ははっきりと境界を線引きできないものらしく、藩の境界が表示された日本地図はないようである。

回答プロセス

レファレンス協同データベースに同様の事例あり。『歴史読本 2012年3月号』の折り込み付録で「近世大名配置図」がある。(宮城県図書館に所蔵あり)

その他の資料を調査したが、『ベーシックアトラス日本地図帳』p120の「江戸時代の日本」は日本全体の地図に藩が記載されているが、「城、陣屋の所在地を藩の位置とした」と記述あり。『藩と県』p3には「藩の領域は、飛地や幕府直轄領があったりと、はっきり境界を線引きできるわけではない」と記述があった。『近世藩制・藩校大事典』(p956-p965)「付録 藩所所在地図」は、藩の境の表示なし。『国別藩と城下町の事典』は地方別の章ごとに地図があるが、藩の境の表示なし。『江戸時代の「格付け」がわかる本』(p.183-p.187)「江戸の諸藩と石高一覧」の地図も、藩の境の表示なし。

参考資料

- 『近代藩制藩校大事典』 大石 学／編 吉川弘文館 2007年
- 『ベーシックアトラス日本地図帳』 平凡社／編 平凡社 2020年
- 『江戸時代の「格付け」がわかる本』 大石 学／監修 洋泉社 2017年
- 『国別藩と城下町の事典』 二木 謙一／監修 東京堂出版 2004年
- 『日本史年表・地図』 児玉 幸多／編 吉川弘文館 2020年
- 『江戸三百藩藩主列伝』 「歴史読本」編集部／編 新人物往来社 2012年
- 『江戸三百藩』 英和出版 2014年
- 『知れば知るほど面白い!江戸三百藩』 山本 明／著 西東社 2011年
- 『一目でわかる江戸時代』 竹内 誠／監修 小学館 2004年
- 『江戸三〇〇藩物語藩史 北海道東北篇』 山本 博文／監修 洋泉社 2014年

■オンラインデータベース

レファレンス協同データベース (2021年6月30日アクセス)

http://crd.ndl.go.jp/reference/detail?page=ref_view&id=1000141117

(「江戸時代の藩名が日本地図上でわかる資料で、貸出可能なものを紹介してほしい」)

「^{しちぶつつうかいげ}七仏通戒偈」に出てくる過去七仏の名前を知りたい。

浄土宗の教えの中に、^{しゃくそん}釈尊を含む七人の仏が説いた教えがある。

答

過去七仏は、①^{しゃかむにぶつ}釈迦牟尼仏、②^{びぼしぶつ}毘婆尸仏、③^{しきぶつ}尸棄仏、④^{びしゃふぶつ}毘舍浮仏、⑤^{くゐるそんぶつ}拘留孫仏、⑥^{くゐごんむにぶつ}拘那含牟尼仏、⑦^{かしようぶつ}迦葉仏のことである。

回答プロセス

「しちぶつつうかいげ」をインターネットで検索、Web 版新纂浄土宗大辞典から意味と名前が分かる。用語辞典で確認した。

※七仏通戒偈とは、過去七仏が共通して保ったといわれる偈（仏の教えや仏・菩薩の徳をたたえるのに詩句の体裁で述べたもの）で、仏教思想を一偈に要約したものとも見なされる。漢訳で、「諸悪莫作、衆善奉行、自浄其意、是諸仏教」といい、「もろもろの悪をなさず、すべての善を行い、自らの心を浄めよ、これが諸仏の教えである」の意。

参考資料

『岩波仏教辞典』 中村 元／ほか編集 岩波書店 1989 年

『日本仏教語辞典』 岩本 裕／著 平凡社 1988 年

参考サイト

Web 版新纂浄土宗大辞典（2021 年 12 月 5 日アクセス）

jodosyuzensho.jp/daijiten/index.php/（七仏通戒偈）

「ナミノハナ」という言葉をなぜ「波の花」と表現するのか。
花とはどんな花なのか。死の忌み言葉という意味もあるよう
だがどうしてか。

答

「ナミノハナ」とは、波が白く泡立つのを花にたとえていう語、また食塩のことである。『大言海 新編版』に「波ノ、岩、濱、ナドニ碎ケテ白ク散ルヲ、花ニ譬ヘテ云フ語。」とあり、比喩表現と思われる。

忌み言葉については、『新修隠語大辞典』に「塩」の「シ」が「死」に通じ忌むため、また、「しおれる」に通じて縁起が悪いため「浪の花」と表現するとの記述があった。花柳用語と記載のある辞典もある。

なお、夜間の忌み言葉としても塩を「ナミノハナ」と呼ぶ。『世界大百科事典』に、「夜間に塩の名を口にするときには<波の花>といい換えるのは、ヤマイヌとかオオカミなど危険な動物に気づかれぬよう心をくばった古代の人々の習慣のなごり」との記載がある。

また、『日本常民生活資料叢書 第四巻 水産篇 (3)』では、塩が夜間において取り扱いが好まれていなかったのは、暗がりの中枘量りの取り扱いが不便だったのではないかとされている。

回答プロセス

「ナミノハナ」を各国語辞典や『たべもの語源考』、『たべもの語源辞典』などの語源辞典で調べたところ、『大言海』と同様の記述が多かった。資料によって、ナミの表記が「波」「浪」と異なるものもあった。また、由来を調べるのに、塩に関する民俗の辺りを調査した。

参考資料

『大言海 新編版』 大槻 文彦／著 富山房 1982年

『日本国語大辞典 第10巻 第二版』 小学館国語辞典編集部／編集 小学館 2004年

『広辞苑 第7版』 新村 出／編 岩波書店 2018年

『新修隠語大辞典』 皓星社 2017年

『塩 ものと人間の文化史7』 平島 裕正／著 法政大学出版局 1978年

『たべもの語源考』 平野 雅章／著 雄山閣 1985年

『新訂版 たべもの語源辞典』 清水 桂一／編 東京堂出版 2012年

『世界大百科事典 13』 平凡社 2007年

『日本常民生活資料叢書 第四巻 水産篇 (3)』

日本常民文化研究所／編 三一書房 1972年（宮城県図書館所蔵）

朝日新聞「天声人語」で夜にセミが鳴くという現象について書かれていた。記事では 2005 年の週刊朝日の記事を引用して、「夜も気温が下がらなくなったがゆえの珍現象」であると書いてあるが、そうしたセミの習性が書かれた本はないか。

答

『セミの自然誌』によると、「ニイニイゼミ」は鳴き始めと鳴き終わりを明るさによって規制しているが、日中の明るさの変化には影響されない。「クマゼミ」は体温変化との関連が強く、「ツクツクボウシ」は朝体温が低いうちは体温が発音活動の要因となり、体温が最高になり横ばいが続くと、発音活動の主要因が明るさへと変わるとある。

また、『セミの一生』p50 に「セミが鳴く時間は、しゅるいによってちがいます。大きくわけると、午前型、午後型、朝夕型、そして終日（1日じゅう）型です。（中略）こういう型ができるのは、なくのにてきした温度とか日の照りぐあいやしゅるいによってちがうからだと考えられています。セミは明るさや気温のへんかにたいへんびんかんなのでこの型がくずれることもあります。」との記載があった。さらに、このように変化するのは、セミが変温動物であり、外気温によって体温が変わるためであるとの記述もあった。

回答プロセス

『世界大百科事典』や『日本大百科全書』には、鳴く習性について「日周性がある」旨の記述があるのみで、気温との関連については書かれていなかったため、セミの生態について詳述している資料を複数当たった。

『セミの生態と観察』を確認したところ、観察法に特化しており、習性への直接の記述はなかった。『セミの自然誌』には「セミの鳴く時刻」の項があり、p 58-p66 にセミの種類ごとに発音活動について記載があった。また、より分かりやすいものをとのことで、児童書を当たった。

参考資料

- 『セミの自然誌』 中尾 舜一／著 中央公論社 1990 年
- 『セミの一生』 佐藤 有恒／写真 橋本 洽二／文 あかね書房 2005 年
- 『セミの生態と観察』 橋本 洽二／著 ニュー・サイエンス社 1984 年
- 『世界大百科事典 15』 平凡社 2007 年
- 『日本大百科全書 13』 小学館 1994 年

アンペラ（^{むしろ}筵）の語源が知りたい。また、調べるためのレファレンス資料も知りたい。

答

語源について『広辞苑 第7版』で「アンペラ」を引くと「語源未詳。amparo（ポルトガル）の訛か。また ampela（マレー）からとも」とある。また『カタカナ・外来語略語辞典』では「葡 amparo」となっている。「amparo」は『デイリー日葡英・葡日英辞典』によると「支え」「支持」「保護」を意味する男性名詞とあり、英語の「support」に相当する語であるとしている。

『語源辞典 名詞編』の「筵」の項では、語源を『和名抄』に「筵（無之路）竹席也 席薦席也」とある。また『日葡辞書』に「ムシロ〔Muxiro〕につく<寝床に伏せる>」とあり、伏す所、床を示している。裳を敷物の代わりにして座るのが、「モシロ（裳代）」、身体を保護するための敷物とするのが「ミシロ（身代）」で、「モシロ（裳代）、またはミシロ（身代）の転か」とする『大言海』の説がよい」とある。（『語源辞典 名詞編』 p269 より）

回答プロセス

最初に辞典を複数確認して、語源となった語が何語なのか検索した。その後、各言語の辞典を参照し、参考資料にできそうなレファレンス資料を紹介した。また、今回のようにカタカナ語の語源を調べる時は、その語が現代になって作られた新語なのかを判断してからレファレンス資料を選ぶ必要がある。

参考資料

『広辞苑 第7版』 新村 出／編 岩波書店 2018年

『カタカナ・外来語 略語辞典』 堀内 克明／監修 「現代用語の基礎知識」編集部／編 自由国民社 2006年

『デイリー日葡英・葡日英辞典』 黒沢 直俊ほか／監修 三省堂 2003年

『語源辞典 名詞編』 草川 昇／著 東京堂出版 2003年

水は透明だが、海や川の水の色が青く見えるのはなぜか知りたい。

答

色を知覚するということは、「目が光を感じている」状態のことである。これを知覚するセンサーが感じることができる色は「赤」「緑」「青」の3種類である。水は光をはね返さず吸収もしない「透過性」という性質があるので透明に見えるが、わずかに赤い光を吸収しやすい性質もある。そのため、水の中に入った光は青みがかり、海底にはね返って出てきたり、空の青さが水面に映ったりすることで青く見える。

なお、日本は海に囲まれ、多くの川が流れる水質資源の豊富な国であり、蛇口からは透明な水が出てくるという環境であるため、「なんで水には色がいないの？」という質問が成立するともいえる。

回答プロセス

「水_色」をキーワードに条件を絞り込んで資料を検索した。レファレンスとほぼ同一タイトル資料の所蔵を確認したので、この内容を回答とした。その他、書架から関連すると思われる資料を何点か紹介し、内容の補足とした。

また、インターネット検索したところ「学研キッズネット」の「科学なぜなぜ110番」に「海はどのようにして青いの」という質問と回答があったので、これも参考とした。

参考資料

『なんで水には色がいないの？ 大人も知らない世の中の仕組み』 五百田 達成／著
文響社 2014年

『色の大研究』 PHP 研究所／編 PHP 研究所 2007年

『なるほどナットク“自然現象” 5 侵食・流水・水の色』 渡部 潤一／監修 学研 2009年

『カラー図解でわかる光と色のしくみ』 福江 純 [他]／著 ソフトバンククリエイティブ 2008年

参考サイト

学研キッズネット 科学なぜなぜ110番 「海はどのようにして青いの」
(2021年12月10日アクセス)

<https://kids.gakken.co.jp/kagaku/kagaku110/science0265/>

つくばい ちょうずばち 蹲踞作法と手水鉢の種類について知りたい。

答

蹲踞とは、手水鉢、前石、湯桶石、手燭石で構成された空間のことを言う。言葉の意味は、体を丸くしてしゃがむ、または膝を折り立てて腰を落とし、立膝をついた力士のような座法を言う。茶会での作法は、手水鉢にたたえられた清らかな水で手と口をすすぎ身を清めてから茶席に入る。手水鉢にたたえられた水のことは海と言い、海の深さは前石と水鉢とのバランスが大切で、水を柄杓ですくいやすいように配置されている。配置方法は流儀によって異なる。

手水鉢の種類については、庭園にあわせて設計された手水鉢を「創作形」、古い石塔などの一部、または全てを流用して水穴を掘り手水鉢にしたものを「見立てもの」、自然の石を使って水穴を掘った手水鉢を「自然石」と分類していると記述があり、例として京都の龍安寺の銭形手水鉢、兼六園夕顔亭の伯牙手水鉢、仁和寺の基礎型手水鉢等が紹介されていた。

回答プロセス

「蹲踞」をキーワードとして蔵書検索で検索したところ、3冊ヒットした。『蹲踞作法』p66には、「使えてこそ蹲踞、実用を伴ってこそ、理にかなった形にしてこそその蹲踞である。」との記述があり、各流派の作法について記載されていた。『露地を彩る蹲踞大全』p18にも蹲踞作法の記載あり。手水鉢の種類については、『さがしてみよう日本のかたち8茶室』p64に記載されていた。『露地を彩る蹲踞大全』p41にも手水鉢デザイン実例集として、多数の手水鉢の写真が掲載されていた。

参考資料

- 『蹲踞作法 身も心も清める水の力』 龍居庭園研究所／編 建築資料研究社 2003年
『さがしてみよう日本のかたち 8 茶室』 日弁 貞夫／写真 中川 武／文
山と溪谷社 2004年
『露地を彩る蹲踞大全 つくばいの作法を網羅した決定版』 吉河 功／監修
誠文堂新光社 2014年

昭和 16 年の仙台市への合併まで、現在の太白区中田にあった前田村の範囲（所在地）が分かる地図を見たい。

答

『中田の魅力探訪』の「中田地区小字図」により、中田の小字地名の「町地区」・「前田地区」分を前田村の範囲として提示した。

回答プロセス

『仙台地名考』の中に、東北本線陸前中田駅の所在地中田は、旧中田村の中心地であり、旧中田村は前田・柳生・袋原・四郎丸の四部落を合併したもの、との記述があった。また、『中田の歴史』の中に、中田は江戸時代の慶長 18 年 1 月に奥州街道沿いの宿場町となったが、宿場町中田町の居住者は昭和 57 年の住居表示実施まで、「前田字町〇〇番地」の表示となった、とあるため、中田の小字地名のうち、「前田地区」だけではなく「町地区」も含めた地域を『中田の魅力探訪』p32 図 2 中田地区小字図（昭和 54 年）により、提示した。

参考資料

『中田の魅力探訪』 仙台中田市民センター／編 2017 年

『太白の散歩手帖』 木村 孝文／著 宝文堂 2001 年

『中田の歴史』 中田の歴史編集委員会 中田公民館運営協力委員会 1991 年

『仙台地名考』 菊地 勝之助／著 宝文堂出版販売 1978 年

河北新報の書評で紹介されていた本の元本を読みたい。書評は2ヶ月位前に読んだ。著者やタイトルは忘れてしまった。覚えているのは「新田次郎・ノンフィクション・富士山登頂・明治時代・古代の仏像」である。

答

元本は『^{つるぎだけ} 劔岳 点の記』新田次郎／著 文藝春秋 1977年である。

回答プロセス

キーワードを元に2ヶ月分の河北新報（原紙）の書評を探すが見つからず、次に河北新報データベースで「富士山 新田次郎」で検索したが、該当記事は見つからなかった。蔵書検索システムで、タイトル「富士山」著者「新田次郎」で検索し、『富士山頂』新田次郎／著という資料がヒットしたが、資料の内容が質問者の記憶と一致しなかった。さらに新田次郎の他の山に関する資料を検索し、併せてインターネットで「山 新田次郎 古代」のキーワードで検索をした。それらの結果から「富士山」ではなく「劔岳」ではないかと推測し、河北新報データベースで「劔岳 新田次郎」で検索したところ質問者が見た記事がヒットし、回答に至った。

掲載日は質問日から半月ほど前のもので、書評ではなく「多士才々」という人物を紹介するコーナーの記事であった。ここで紹介されている高橋大輔さんは、探検家であり、『劔岳 点の記』新田次郎／著の中で語られている劔岳の最初の古代の登頂者を探すという難題に自ら取り組み、著作『劔岳 線の記』を刊行した。

質問者の記憶の中で「劔岳」から「富士山」にキーワードが変化しており、また記事の記載されていたコーナーが書評欄ではなかったため、検索に時間がかかってしまった。

参考資料

『劔岳 点の記』 新田 次郎／著 文藝春秋 1977年

『劔岳 線の記』 高橋 大輔／著 朝日新聞社 2020年

オンラインデータベース

「河北新報データベース」2020年10月27日掲載「多士才々 探検家 高橋 大輔さん」

『仙台地名考』に記載のあった「仙台^{ななさき}七崎」の現在の場所がわかるものを見たい。

答

「仙台七崎」は仙台城下の地誌、『仙台^{せんたい}鹿の子』などでも紹介されている名勝地である。

- ① 茂ヶ崎：大年寺山の東面
- ② 青葉ヶ崎：仙台城の後背地
- ③ 小藤ヶ崎（別名 藤ヶ崎）：片平丁から花壇へ通ずる崖地
- ④ 鳥^{からす}崎：文殊堂の南、三居沢^{さんきよざわ}のある高台
- ⑤ 袖ヶ崎（別名 松ヶ崎・駒ヶ崎）：現広瀬町の^{しょうげい}尚綱学院のある高台
- ⑥ 鹿島崎：北山の光明寺東にある鹿島神社の高台
- ⑦ 玉手崎（別名 玉田崎、玉田ヶ崎）：小松島にある万寿寺周辺の高台、又は東照宮の高台

七崎それぞれの名称の表記は資料によって若干の違いがあるため、ここでは『仙台史通史編5 近世』にならい、別名のあるものは加筆した。所在地については『復刻 J T B 仙台市街圖 昭和 24 年版 仙台懐古地図（レトロマップ）』の情報をもとに加筆修正した。

回答プロセス

『仙台地名考』p186の「茂が崎」の項に、「…そして旧仙台城下の南を囲む^{ほうらん}峰巒で、その東端を茂が崎と称し、仙台七崎の一に数えられたところである。七崎とは茂が崎を始め、青葉が崎・藤が崎・松が崎（駒が崎）・^{からす}鴉崎・鹿島崎・及び玉田崎（玉手崎）である。」との記述があったので、『仙台市史 索引』で「仙台七崎」を調べたところ、『仙台市史 通史編5 近世』p314 - p315に、仙台七崎の名称と場所を記した地図が掲載されており、仙台城下の名所であることがわかった。そこで仙台の古地図にあたったところ、『復刻 J T B 仙台市街圖 昭和 24 年版 仙台懐古地図（レトロマップ）』にも仙台七崎の名称と七崎の場所を記した地図のほか、付属解説書に七崎の所在地情報があったので、上記2点を提供した。

参考資料

- 『仙台市史 通史編5 近世』 仙台市史編さん委員会／編集 仙台市 2004年
『復刻 J T B 仙台市街圖 昭和 24 年版 仙台懐古地図（レトロマップ）』
イーピー風の時編集部 2008年
- 『仙台地名考 修正増補』 菊地 勝之助／著 宝文堂出版販売 1978年
『名数みやぎ郷土小事典』 菊地 勝之助／編 宝文堂出版販売 1987年
『仙台郷土史夜話』 三原 良吉／著 宝文堂出版販売 1971年
『復刻版 増補 仙臺鹿の子』 仙台郷土研究会 2010年

「将監沼」について知りたい。できれば等高線や地図もあるとよい。

答

七北田字野山（現将監団地）にあり、市内屈指の大堤である。昔、この地は横沢将監という仙台藩家臣の領地であったという。領民が水不足に苦しみ、水田耕作に難渋する姿を見た将監はこの沢地に堤防を築いた。築堤は寛永頃と推定される。また、『いずみのふるさと一総集編』p73に「将監堤は、市の水利単位帳によれば、堤防の高さ一七m、長さ一三六m、水面積五〇ヘクタールとなっている。」との記述がある。

回答プロセス

「将監沼」「将監堤」については『仙台市史』、『泉市誌』をはじめ多数の資料に記述あり。郷土資料のコーナーに案内し、七北田の地誌を中心に紹介した。等高線や地図については、詳細なものは見つけれなかったが、『いずみのふるさと一総集編』p74-p75に「用水路マップ（新堰～将監沼～七北田・市名坂）」、『はっけん 七北田』p34に「新堰用水と七北田・市名坂」の地図が掲載されていた。また、河北新報データベースで「将監沼（堤）、歴史」をキーワードに検索すると、合わせて12件ヒット。こちらは歴史だけでなく現代の様子（将監沼を中心とした将監風致公園を含む）の写真なども確認できた。

参考資料

- 『泉市誌 下巻』 泉市誌編纂委員会／編 佐々久／監修 宮城県泉市 1986年
『いずみのふるさと一総集編』 泉区まちづくり推進協議会 2020年
『はっけん 七北田』 歴史民俗ボランティア「七北田探検団」／編 仙台市泉区中央市民センター／編 仙台市教育委員会 仙台市泉区中央市民センター 2003年
『いずみの水と緑 続 み～つけた』 地元学編集委員会／企画・編集
泉区まちづくり推進協議会 2018年
『都市圏活断層図 1:25,000 II 仙台地区』 建設省国土地理院／編
建設省国土地理院 1996年

参考サイト

仙台市ホームページ「将監沼の自然」とふれあいを育む会（2021年12月11日アクセス）
<https://www.city.sendai.jp/ryokukasuishin/kurashi/shizen/midori/shinse/torikumi/dantai/i-chiran/fureai.html>

■オンラインデータベース

「河北新報データベース」

仙台城に飾っていた門松の絵が見たい。根白石の山の木を使っていたと聞いた。

答

『仙台の祭りと年中行事』のp26に写真と次の説明がある。「仙台地方の門松は…～中略～仙台城の門42か所に飾られ…～中略～材料は根白石村（仙台市泉区）の門松上人（かどまつあげにん）と呼ばれる家8軒が献上していた…」また、『市史せんだい Vol.20』“仙台城の門松”の項にも絵、写真があり、p110の“表3 門松御用山の変遷”には、年代、所在・所属、御林名、御用木の種類がまとめられていて、根白石の山の木を使用したことが確認できる。さらに、『宮城県根白石村史』附録p56に“根白石村御門松納申候者共”の記載があった。

回答プロセス

仙台市史の索引で調べたが見つけれない。次に、蔵書検索システムで“仙台”と“年中行事”で検索すると、『仙台の祭りと年中行事』がヒットし、これに掲載されてある写真説明文の一部の出典が、(研究ノート 仙台城の門松『市史せんだい Vol.20』)であることが判明した。さらに、この本のp104に『宮城県根白石村史』の記述を見つけた。

参考資料

- 『仙台の祭りと年中行事』 仙台市歴史民俗資料館／編集 仙台市教育委員会 2016年
『祝いの日々 仙台地方の年中行事—正月と盆—』 仙台市歴史民俗資料館／編
仙台市歴史民俗資料館 1995年
『市史せんだい 仙台への道 仙台からの道 Vol.20』 仙台市博物館／編
仙台市博物館 2010年
『宮城県根白石村史』 根白石村史編纂委員会／編 根白石村(宮城県) 1957年

参考サイト

伝統の仙台門松を復元する：心のふるさと創生会議（2021年12月11日アクセス）

http://www.kokoronofurusato.org/wp-content/uploads/2019/12/sendaikadomatsu_191228_b.pdf

歌人の おうぎはただ お 扇畑 忠雄 が作詞した校歌について知りたい。

答

扇畑忠雄氏は、長年に亘り河北歌壇の選者を務め、仙台文学館の創設に尽力するなど、東北の文学界、短歌界に数多くの業績を残した。河北新報の記事に、東北大学を退官後、東北福祉大学教授に就任した際に、東北福祉大学の学長から、大学の校歌の作詞を依頼されたことが掲載されていた。作曲者は古賀政男だったそう。以降宮城県内の小中高を中心に 100 作程の校歌を作詞したということであった。『仙台の教育 100 年』には、仙台市台原中学校と北仙台中学校と仙台市工業高校の校歌を作詞したとの記述があった。仙台市教育委員会の各小中学校のホームページから、小学校では 9 校、中学校では 4 校の作詞をしたことがわかった。1993 年 4 月 22 日の河北新報の記事に、国立療養所宮城病院附属看護学校の校歌を作詞したことが掲載されていた。

回答プロセス

「扇畑忠雄」をキーワードとして蔵書検索システムで検索したところ、『扇畑忠雄追悼集』p464 に西山小学校の校歌についての寄稿文が掲載されていた。『仙台の教育 100 年』にも校歌が掲載されていた。インターネット検索に切り替えて調べてみたところ、下記のサイトから、仙台市内の小中学校の学校要覧の情報から情報が得られた。校歌についてホームページに掲載されていない学校もあり、全ては調べるができなかった。河北新報のデータベースで「扇畑忠雄 校歌」で検索すると、6 件ヒットした。1993 年 4 月 22 日の「人・語録」の記事と 1999 年 7 月 8 日の「談」という記事にも校歌を作詞したとの記載があった。

参考資料

『扇畑忠雄追悼集』 扇畑忠雄追悼集編集委員会／編

東北アララギ会群山発行所 2006 年

『仙台の教育 100 年』 仙台市教育委員会／編 仙台市教育委員会 1973 年

参考サイト

仙台市ホームページ「各小学校・中学校のホームページ」(2021 年 12 月 10 日アクセス)

<https://www.city.sendai.jp/kyoiku-kanri/kakugakkounohomepage.html>

■オンラインデータベース

「河北新報データベース」

河北新報掲載記事の「オッツ祭り」について知りたい。

答

「オッツ祭り」は旧暦8月15日に行われる栗生の鬼子母神堂の祭りで、オッツとはこの地方で唾おとしのことである。当日の夕方5時ごろ当主が着物に袴を着け、供物の膳を堂まで供えに行く。お詣りの道中は他人に会ってはならず、無言で行くため唾おとし神がみと語り伝えられてきた。鬼子母神が人の子を盗ったことから、盗人神とも呼ばれているが詳細は不明である。

供物の膳が独特で『宮城県史 21 民俗』に、「(1) 重箱に赤飯と、稲穂を抜いて来て粳もみをしごき、一粒ずつむき、赤飯を炊くときシト（打ち水）をしてから炊き込み、それを重箱の隅に添えたもの、(2) オカケザカナは尾頭付き、(3) 三品を盛った角かく、(4) カラトリ（芋茎）と豆の膳なます、(5) お神酒、それに鬼子母神には十二人の子供がいるので茅の箸十二膳を添え、ロウソクを持っていく。」とある。

『宮城町誌（続編）』、『宮城町の文化財 宮城町文化財報告書第2集』では愛子のかくれキリシタンとの関係も言及している。下愛子が仙台藩のキリシタン弾圧から逃れてきた教徒たちの隠れ場だったこと、本尊が女人で右手に幼児を抱えていること、祭日がマリアの昇天の日であることなどから、かくれキリシタンの祭事ではないかという記述があった。

回答プロセス

「オッツ祭り」を蔵書検索システムで検索したところヒットしなかったため、質問者が持っていた新聞記事から五郎八姫の資料や百科事典、県史を当たった。『宮城県史 21 民俗』p211-p212「鬼子母神のオッツ祭 宮城町下愛子栗生」の項、『宮城町誌（続編）』p953-p955「栗生地区の文化財（その一） 鬼子母神堂」の項、『宮城町の文化財 宮城町文化財報告書第2集』p16-p21「132 鬼子母神堂」の項に詳しい記載があった。

上記資料の他に、『ふるさとみやぎ文化百選 1』、『宮城県百科事典』に「オッツ祭り」の記載があった。

参考資料

『宮城県史 21 民俗』 宮城県／著 宮城県史編纂委員会／編纂 ぎょうせい 1987年

『宮城町誌（続編）』 宮城町誌改訂編纂委員会／編集 仙台市役所 1989年

『ふるさとみやぎ文化百選 1』

「ふるさとみやぎ文化百選」編集委員会／編集 宝文堂 1984年

『宮城県百科事典』 河北新報社／編集 河北新報社 1982年

『仙台叢書 封内風土記 第3巻』 平重道／解題 宝文堂 1975年

『宮城町の文化財 宮城町文化財報告書第2集』 宮城町教育委員会 1977年

良覚院丁公園を守るために都市計画道路をずらしたと聞いたことがあるが、その経緯を知りたい。

答

町名の由来となった良覚院は、伊達家代々の祈祷寺（戦の無事などを祈願する寺）で藩の手厚い保護を受けていたが、明治維新後廃寺となり庭園も寂れ民有地となっていた。

明治中頃、庭師が5年をかけて再興し、明治31年には茶室も建てられ趣き深い庭園となった。戦災時、庭を囲むたくさんの樹々が防火帯となって空襲から茶室を守った。

この長い歴史をみつめてきた庭園が、戦後仙台市の復興事業の区画街路計画で南北に分断されることになったとき、市民の間から存続を望む声が多くあがり、市はこうした要望をふまえて計画を一部変更し公園を残すことになった。

また藤崎百貨店から250万円の寄附を受けそれを庭園の保存費にあて、公園内の茶室は「緑水庵」と名づけられた。

昭和35年には所有者の佐藤源助（藤崎の役員）から仙台市に寄附され、良覚院丁公園として市の所有となり名園として今に残っている。

回答プロセス

『仙台都市計画史』を見たが街路計画変更の記述はなかった。河北新報データベースでキーワード「緑水庵」「良覚院丁」で検索すると多数ヒットした。その中で2007年8月6日夕刊「仙台まち歩き 良覚院丁・片平丁／西大立目祥子」のなかに街路計画変更の記事を見つけ、記事をまとめた資料も確認。藤崎百貨店の社史、『戦災復興余話』『伊達治家記録』のなかにも都市計画道路変更の記述や庭園の歴史が詳しく書かれていた。

参考資料

『戦災復興余話』 仙台市開発局 1980年

『仙台都市計画史』 仙台市開発局計画部都市計画課 1988年

『仙台まち歩き 寄り道・道草』 西大立目 祥子／著 河北新報出版センター 2010年

『伊達治家記録 20』 平 重道／責任編集 宝文堂 1981年

『仙台市史 続編第2巻 経済文化編』 仙台市史続編編纂委員会 1969年

『藤崎170年のあゆみ』 藤崎 1990年

『藤崎200年のあゆみ』 藤崎社史編纂チーム／編 藤崎 2020年

■オンラインデータベース

「河北新報データベース」

東京の神田川沿いにある「センダイボリ（仙台堀）について調べている。この堀を造った時の工期、責任者、経費等について知りたい。

答

「仙台堀」は、東京の神田川、水道橋～お茶の水間にある堀のことで、小石川堀または、お茶の水堀とも言う。

仙台藩は、1660（万治3）年2月1日、江戸城小石川堀の普請（土木工事のこと）を幕府より命ぜられ、伊達綱宗が責任者として江戸に赴いた。その後、総奉行に片倉小十郎景長・茂庭定元・後藤孫兵衛近康・真山元輔らを任命し、1660年5月19日から翌年1661（寛文元）年3月まで普請が行われ完成した。

普請の内容は、船が通れるように牛込から和泉橋まで川底の土砂を取り除き、あわせて堀の兩岸の土手を修復するというもので、その範囲は神田川に流れこむ江戸川の一部も含み、総延長は4 km以上にも及ぶ大掛かりなものだった。その間現場で携わった人足は3,863人にのぼり、仙台藩には一人につき幕府から米五合が月単位で支給されたが、普請に要した経費は莫大で、借金約7万両の財政難の中で行われた。

また、普請の途中、責任者である綱宗は飲酒と遊郭通いの行動が問題になり、隠居を命じられていた。これらのことが、後のお家騒動（伊達騒動）の原因のひとつになったとも言われている。

回答プロセス

蔵書検索システムで「仙台堀」をキーワードに検索したが適切な資料が見つけられず、『仙台市史』の索引等を見ても見当たらなかった。次に国会図書館のデジタルコレクションのサイトで「仙台堀」を検索したところ、『宮城県史』等に「小石川堀」という名称で載っていることがわかり、江戸の地図で見ると神田川にかかる水道橋、小石川橋があった。それを基に『宮城県史』『仙台市史』の索引で探したところ、記述があることを確認した。

参考資料

- 『仙台市史 通史編4 近世2』 仙台市史編さん委員会／編集 仙台市 2003年
- 『宮城県史 2 近世史』 宮城県／著 宮城県史編纂委員会／編纂 ぎょうせい 1987年
- 『宮城県史 8 土木』 宮城県／著 宮城県史編纂委員会／編纂 ぎょうせい 1987年
- 『伊達治家記録 5』 仙台藩史料大成 平 重道／責任編集 宝文堂出版 1974年

■オンラインデータベース

「国立国会図書館デジタルコレクション」

福島の方言かと思われる「はばはば」という言葉の意味について知りたい。

答

会津地方の方言で「大っぴら」という意味である。

用例として、「学校おえだから、はばはばど化粧すんべえー」

回答プロセス

福島方面の方言かもしれないという事であったので、まずは所蔵している以下の福島・会津関連の辞書や事典等を中心に調べたが、目的の方言は見つからなかった。

『会津方言辞典』 竜川 清・佐藤 忠彦／共著 国書刊行会 1983年

『福島県方言辞典』 児玉 卯一郎／著 国書刊行会 1974年

『会津大事典』 会津事典編纂会／編纂 国書刊行会 1985年

『福島県民百科』 福島民友新聞社福島県民百科事業本部／編 1980年

『会津若松史 11 美術・工芸・民家・文学』 会津若松史出版委員会／編 国書刊行会
1981年

インターネットで「会津弁」「福島 方言」などのキーワードで検索すると、「会津音声方言辞典」というサイトがあり、その中に「はばはば」という言葉が記載されていて典拠となった資料名も掲載されていたことから、直接その資料で意味を確認した。

参考資料

『会津方部方言の手引書』 蜷気楼／著 歴史春秋出版 2008年

参考サイト (2021年11月30日アクセス)

『会津音声方言辞典』

<http://www.aizu-shinkirou.com>

宮城県内の狼の生息が最後に確認されたのはいつ頃か

答

宮城県では、明治10年に狼害対策としてオオカミ捕獲の手当金が支給されるようになったことが、当時の記録に残っている。それによると、「明治13年4月27日の黒川郡吉田村で捕獲された狼児4頭」とあるのが最後の記録である。しかし、この制度は、同年11月に手当金の財源不足により廃止されたため、この4頭が最後に確認された狼という証拠とはならず、また、これ以降の他の記録も見当たらない。

また、三原良吉著『仙台耳ぶくろ』によると「実沢（仙台市泉区）では明治20年ごろも夜になると狼の遠吠えがきこえ、明治35年ころは狼が台所のヨゴミをあさりに来ることもあったが、いつとはなく自然にそれも絶えたという」という記述があり、これが事実とすれば、少なくとも明治35年頃までは、宮城県内で生息していたことになる。

回答プロセス

所蔵検索で「ニホンオオカミ」「宮城県」で検索すると『仙台郷土研究（復刊第40巻第2号）』、『仙台郷土研究（復刊第41巻第1号）』、『仙台郷土研究（復刊第41巻第2号）』の3冊が検索できる。これらの資料中に「ニホンオオカミはいつ絶滅したのか—宮城県の場合—」という論文が3回にわたって掲載されている。

参考資料

- 『郷土史 仙台耳ぶくろ』 三原 良吉／著 宝文堂 1982年
- 『仙台市史 特別編1 自然』 仙台市史編さん委員会／編 仙台市 1994年
- 『オオカミはなぜ消えたか』 千葉 徳爾／著 新人物往来社 1995年
- 『仙台郷土研究（復刊第40巻第2号）』 仙台郷土研究会 2015年
- 『仙台郷土研究（復刊第41巻第1号）』 仙台郷土研究会 2016年
- 『仙台郷土研究（復刊第41巻第2号）』 仙台郷土研究会 2016年
- 『東北学2015 No.06』 東北芸術工科大学東北文化研究センター 2015年
- 『熊と狼』 東北歴史博物館／編 東北歴史博物館 2017年
- 『日本列島にいたオオカミたち』 橋本 伸／著 本の泉社 2018年

参考サイト

- 「明治時代東北地方におけるニホンオオカミの駆除」 中沢 智恵子
2010-03-01. 野生生物保護 : Wildlife conservation Japan 12(2) p. 19-38
<http://iss.ndl.go.jp/books/R000000024-I004535196-00>

仙台藩としては珍しいコースを辿った、安永九年の参勤交代の帰りの経路がわかる記録を探している。

答

仙台藩の帰りの経路は主に奥州街道と決められていたが、鹿島詣や仙台領飛地の龍ヶ崎（現在の茨城県龍ヶ崎市）の巡見を目的とした江戸浜街道の通行が4回だけあった。五代吉村の享保十三年（1728）、元文元年（1736）と七代重村の安永七年（1778）、九年（1780）である。九年の記録には重村が記した「鹿島道の記」があり、『仙台藩道中物語』に部分的だが簡潔な内容の記載がある。

また、随伴した伊達家着座の重臣・高野家の嫡子統兼もこの時のことを『安永八・九亥子江府日記』に残しており、こちらの内容は『蔵王町史』で知ることができる。どちらも読みやすい現代語である。

これらの記録に記された宿場名・富岡宿を『福島県の地名』で調べてみると、[浜街道に近世に置かれた宿場]で、[安永九年 1780] [仙台藩主伊達重村が当地の郷氏猪狩岡右衛門宅に泊まる]の記載が見つかった。

回答プロセス

安永九年は七代重村（徹山公）の時代である。藩公式の史料として六代治家記録を提供しなかったが、内容そのままの資料は当館には所蔵がない。主題を参勤交代に絞って改めて探してみると、重村が著した『鹿島道の記』と重村に随伴した高野統兼が残した日記があることがわかった。

参考資料

- 『仙台藩道中物語』 高倉 淳／著 今野印刷 1997年
- 『蔵王町史 通史編』 蔵王町史編さん委員会／編 蔵王町 1994年
- 『日本歴史地名体系 7 福島県の地名』 平凡社 1993年
- 『仙台藩歴史事典 改訂版』 仙台郷土研究会／編 2012年
- 『仙台藩の参勤交代』 渡邊 洋一／著 歴研 2016年

「仙台市民歌」について、歌詞や楽譜が見たい。

答

仙台市民歌は、1931年（昭和6年）河北新報社が新聞創刊35周年を記念して選定した。歌詞は紙面にて一般公募され、土井晩翠、小倉博、堀内敬三ら3名の審査員によって選ばれ、作曲は委嘱された堀内敬三が手掛けた。歌詞や楽譜は仙台市に寄贈され、現在市民図書館で見ることができる。他に『仙台の教育100年』『戦前の北山耳ぶくろ』に歌詞・楽譜、『要説 宮城の郷土誌』『仙台市史 通史編7 別篇5』に歌詞が掲載されている。この時選ばれた歌詞は、応募数3,000篇の中から当時斎藤報恩会に勤務していた佐々木精一（筆名 佐々木青）の作品だった。また、二等には石川善助（仙台出身・詩人）の作品が選ばれた。満州事変の勃発や凶作に見舞われるなど人々の生活が苦しい中で、市民歌は広く市民に愛唱されたとある。

その後1989年（平成元年）に、新しい市民歌「風よ雲よ光よ」が市政100周年及び政令指定都市移行を記念して制定された。また、2015年（平成27年）には国連防災世界会議開催に向けて仙台をアピールするため、一般市民が新仙台市民歌を作ったことが河北新報に掲載されている。

回答プロセス

1931年選定の市民歌について河北新報社の社史に記載があることを確認すると共に、仙台市史や教育史、宮城県の教育史にも記載されていることがわかった。なお、新しい市民歌については、インターネット及び河北新報データベースで検索して回答した。

参考資料

- 『仙台市民歌（楽譜 歌詞 贈呈目録）』 堀内 敬三／作曲 佐々木 青／作詞 1931年
- 『河北新報の七十年』 河北新報／編 河北新報社 1967年
- 『仙台市史 通史編7 別篇5』 仙台市史編纂委員会／編纂 万葉堂書店 1975年
- 『仙台の教育100年』 仙台市教育委員会／編 仙台市教育委員会 1973年
- 『宮城県教育百年史 第2巻 大正・昭和前期編』宮城県教育委員会 ぎょうせい 1977年
- 『要説 宮城の郷土誌』 仙台市民図書館／編 宝文堂 1983年
- 『詩人 石川善助』 藤 一也／著 万葉堂出版 1981年
- 『戦前の北山耳ぶくろ』 高橋 淳／著 2010年

参考サイト

CiNi（論文検索） 「比較研究－東北の6県都－『住みやすさ』からみる都市の姿」中村 實
<http://ci.nii.ac.jp/naid/110004628396> （2021年2月5日アクセス）

- オンラインデータベース
「河北新報データベース」

白洲次郎の東北での功績について知りたい。

答

太平洋戦争の敗戦直後に、当時外務大臣であった吉田茂元首相の特命により、連合軍司令部（GHQ）との戦後交渉に当たった白洲次郎はその巧みな交渉ぶり、アメリカに「従順ならざる唯一の日本人」と言わせるなど、戦後の日本で大きな活躍をした。

その活躍はドラマ化されるなど、注目を集めたりしたが、吉田内閣崩壊後は東北電力の会長として東北の地にも大きな功績を残した人物でもある。

会長在職中は、机に座っていることはほとんどなく、自ら英国製の四輪駆動車を運転して東北各地のダム工事現場を回る毎日であったというエピソードがある他、地元への貢献を最優先するという企業理念を浸透させた。その理念には大事故など決して起こさないという独特の技術者魂も含まれており、白洲が東北電力を去った後もその魂は脈々と受け継がれ、東日本大震災後の復旧・復興にも繋がっていたという。

現在、当時開発にあたった福島県金山町には「東北電力奥会津水力館」が開設され、その中に彼の功績を称え、白洲次郎の展示ルームとして電源開発に取り組んだ活動を紹介するパネルや彼の遺品等を展示している。

また、只見川の電源開発によってできた「上田ダム」及び「本名ダム」には白洲次郎の言葉が刻まれた記念碑が建ち、隠れた名所となっている。

回答プロセス

ジャパンナレッジのデータベースを利用して「白洲次郎」を検索すると、政治家としてだけでなく、実業家として、初代東北電力の会長を務めるなど東北とゆかりのある人物であることがわかる。

また、インターネットで「白洲次郎」「東北電力」で検索すると「東北電力奥会津水力館」の公式サイト「奥只見と白洲次郎」のページがヒットし、展示されている白洲次郎の関連本等が写真に映し出されている。

なお、「白洲次郎」をキーワードに蔵書検索を行うと白洲本人による直言集ほか、家族や関係者による回想録など多くの書籍が検索できる。

参考資料

- 『風の男白洲次郎』 青柳 恵介／著 新潮社 1997年
- 『プリンシプルのない日本』 白洲 次郎／著 ワイアンドエフ 2001年
- 『レジェンド伝説の男 白洲次郎』 北 康利／著 朝日新聞出版 2009年
- 『1946 白洲次郎と日本国憲法』 須藤 孝光／著 新潮社 2010年
- 『白洲次郎 日本を復興させた男』 須藤 孝光／著 新潮社 2011年
- 『電力と震災—東北「復興」電力物語 特別版』 町田 徹／著 日経BP社 2015年
- オンラインデータベース「ジャパンナレッジ」（総合辞書・事典データベース）

大崎八幡宮のどんと祭と裸参りについて知りたい。(歴史や昭和のはじめ頃の様子も知りたい。)

答

大崎八幡宮では、どんと祭のことを「松焚祭^{まつたきまつり}」といい、1月14日の夜に境内で正月飾りや古神社札等を焼く正月送りの行事であり、また、裸参りは酒造店の杜氏^{とうじ}が醸造安全・吟醸祈願のために参拝したのが始まりとされている。歴史や昭和のはじめ頃の様子については、『大崎八幡宮の松焚祭と裸参り 仙台市文化財調査報告書第305集』に詳細説明があり、どんと祭の様子を収めた写真もある。また、河北新報データベースで「松焚祭」と検索すると11件、「どんと祭 and 裸参り」で検索すると294件の記事がヒットした。『仙台年中行事絵巻』には、裸もうでの絵と三原良吉による解説がある。

回答プロセス

大崎八幡宮のホームページで「当宮においては「松焚祭（まつたきまつり）」とありますが～」との記載があったので、「どんと祭」「松焚祭」「裸参り」をキーワードに検索。

他にも市史や県史、新聞、民俗関係の書架などを確認した。

参考資料

- 『宮城県百科事典』 河北新報社／編 1982年
- 『大崎八幡宮の松焚祭と裸参り 仙台市文化財調査報告書第305集』 仙台市教育委員会 2006年
- 『要説 宮城の郷土誌』 仙台市民図書館／編 宝文堂 1983年
- 『祭礼と年中行事』 仙台市歴史民俗資料館／編 仙台市歴史民俗資料館 2003年
- 『宮城県の不思議事典』 佐々木 光雄／編 吉岡 一男／編 新人物往来社 2004年
- 『仙台事物起原考』 菊地 勝之助／著 ヨークベニマル 1995年
- 『東北民俗 第47輯』『東北民俗 第50輯』 東北民俗の会 2013年・2016年
- 『仙台商工会議所月報 1988年1月』（「どんと祭考」佐々 久／絵と文）
- 『仙台年中行事絵巻』 常盤 雄五郎／編 仙台昔話会 1940年

参考サイト

大崎八幡宮ホームページ (2021年11月2日アクセス)

<https://www.oosaki-hachiman.or.jp>

- オンラインデータベース
「河北新報データベース」

宮城野には「鈴虫壇」という場所があったようだが、どのようなものだったのか。

答

平安時代から江戸時代にかけて萩の名所であった宮城野は、広大な野原で秋になると鈴虫が鳴くことでも有名で、仙台城や一本杉のお屋敷などから、殿様から奥方やお姫様が行列をつくり、その音色を聞きに来たとされる。

その野原の屋敷に三間四方の「オタチ」と称する土壇があり、そこでゴザや緋毛氈^{もうせん}を敷いて紫のまん幕を張り、お姫様たちがお弁当を食べたり野だてのお茶を楽しんだと言われ、この土壇を「鈴虫壇」と呼んでいる。

『奥州名所図絵』には当時の情景が描かれている。

仙台市史では宮城野の鈴虫は、江戸時代の仙台藩領内物産を紹介した『封内土産考(ほうないどさんこう)』にも「宮城野鈴虫」として記載されている。

回答プロセス

宮城野区の歴史や民俗が書かれている郷土史関連の資料や、市史・県史から「宮城野」「鈴虫」に関する記載を探した。

説明文だけではなく、『目で見ると仙台の歴史』などには当時の情景が描かれていた（奥州名所図絵より）。

参考資料

『地元学』 地元学の会／企画編集 新しい杜の都づくり宮城野区協議会 2000年

『榴岡と宮城野の民俗』 仙台市歴史民俗資料館 1982年

『宮城野 仙台の歴史と暮らしの原風景』 宮城野区役所・新しい杜の都づくり宮城野区協議会／企画編集 1995年

『目で見ると仙台の歴史』 仙台市史図録編纂委員会／編 宝文堂 1975年

『仙台市史 通史編5 近世』 仙台市史編さん委員会／編集 仙台市 2004年

『宮城県史 15 博物』 宮城県／著 宮城県史編纂委員会／編纂 1987年

『仙臺郷土研究 限定復刻版4 第6巻第7号 戦前編』 仙台郷土研究会 1980年

過去の事例集（2010年 Vol.1）目 次

| | |
|-----------------------------|----|
| 戦前の宮城県図書館の写真について | 1 |
| 小説に出てきた「仙台大新聞」の発行について | 2 |
| アダムとイブが食べたという「禁断の実」とは？ | 3 |
| 清国人が仙台領に漂着したのはいつ？ | 4 |
| 金成善左衛門という人物について | 5 |
| 宮城県丸森町にある「斎理屋敷」について | 6 |
| 仙台市青葉区にある「愛子（あやし）」の地名の由来とは？ | 7 |
| 民法900条法定相続の条文が見たい。 | 8 |
| 世界各国の年金の支給額について | 9 |
| 仙台市の学校給食に牛乳が使われ始めた時期について | 10 |
| 以前食べた仙台銘菓とは？ | 11 |
| 『伊達治家記録』にある「ヨリミツ」とは？ | 12 |
| 「戦陣訓」の全文を読みたい。 | 13 |
| 「黄爪菜」とはどんな草花か？ | 14 |
| 伊達政宗が食べた料理とは？ | 15 |
| 仙台市が出しているデザイナーへの補助金について | 16 |
| 丸光デパート（仙台市）のミュージックサイレンについて | 17 |
| 仙台にはじめて建ったホテルとは？ | 18 |
| 『現行日本法規一道路』にある車両種類の略称について | 19 |
| ハンガリーの画家シニェイ＝メルシェ・パールについて | 20 |
| 童謡「里の秋」の歌詞について | 21 |
| 野球用語について | 22 |
| 東北の女相撲について | 23 |
| 武道「槍術」の宮城県での歴史について | 24 |
| 武田信玄が引用した言葉について | 25 |
| 昭憲皇太后の和歌が載っている本は？ | 26 |

過去の事例集（2012年 Vol.2）目 次

| | |
|------------------------------|----|
| 仙台の吉成にある権現森について | 1 |
| 月の形はなぜ変わるの？ | 2 |
| 時計の見方や時間そのものについてわかる本？ | 3 |
| 高野原の造成前と現在を比べて、その変化を調べたい | 4 |
| 記念日や祝日のいわれを知りたい。 | 5 |
| 奥州街道の道中歌について知りたい。 | 6 |
| 宮城師範学校について | 7 |
| 仙台はなぜ杜の都といわれているのか | 8 |
| 仙台に上野動物園がやってきたときの新聞記事について | 9 |
| 近所の街路樹になった実について知りたい。 | 10 |
| 仙台白菜の生みの親、沼倉吉兵衛について | 11 |
| 「青葉茂れる桜井の～」で始まる歌について | 12 |
| 匂当台公園にある母子像の製作者を知りたい。 | 13 |
| 伊達政宗がつくった漢詩について | 14 |
| 日本の平均寿命と健康寿命の最新データについて | 15 |
| 浪分神社と津波の深い関係？ | 16 |
| 仙台市の宅地造成時の切土、盛土についてわかる資料は？ | 17 |
| フランスの牡蠣を宮城県産の牡蠣が助けた？ | 18 |
| 仙台市の広瀬川沿いや、近辺の地形と地質について知りたい。 | 19 |
| レントゲンやラジウム温泉の身体への影響について知りたい。 | 20 |
| 震災に関する資料の紹介 | |

過去の事例集（2014年 Vol.3）目 次

| | |
|---------------------------------|----|
| アメリカのオバマ大統領の両親について知りたい。 | 1 |
| なぜ日本の学校は4月入学なのか。 | 2 |
| 韓国の現在の経済力を知りたい。 | 3 |
| ウイスキー製造元のニッカという名称がどこからきたのか知りたい。 | 4 |
| 【巳】と【已】と【己】の字について | 5 |
| 昭和30年代の肺結核の「三者併用の薬」とは何か。 | 6 |
| 「八色姓」にあるという、装束の色と身分や位との関係について | 7 |
| いろいろなストレスをランキングした表を見たい。 | 8 |
| 昭和12年に世界一周を成し遂げた「神風号」について | 9 |
| できるだけ簡単に扱える非常食にはどんなものがあるのか。 | 10 |
| お墓の納骨スペース「カロート」とは何語か？ | 11 |
| 「ばんきり」という言葉の意味を知りたい。 | 12 |
| 「森のキツツキ」など手遊びの歌詞が載っている本は？ | 13 |
| 浮世絵で、東京スカイツリーのようなものが描かれているものは？ | 14 |
| 沙羅双樹の木を写真や絵で確認したい。 | 15 |
| 天候と病気の関係について教えられるような本を紹介してほしい。 | 16 |
| 昭和40年頃の平均的な退職金の額は？ | 17 |
| 玄米に含まれる「フィチン酸」について調べたい。 | 18 |
| 常長が外国に行き白石和紙で鼻をかんだ…というエピソードは？ | 19 |
| カタツムリの飼い方について | 20 |
| ペンギンの卵を原寸大の写真で見たい。 | 21 |
| ノートのまとめ方がわかる本は？ | 22 |
| 秋の七草の種類やいわれなどを知りたい。 | 23 |
| ビスケットとクッキーの違いはあるの？ | 24 |
| 仙台の冬を彩る「光のページェント」はどんな意味があるのか。 | 25 |
| 仙山線の歴史について知りたい。 | 26 |
| 仙台藩の寺格とはどういうものなのか。 | 27 |
| 佐々木喜善が宿泊した「芭蕉館」はどこにあるか。 | 28 |
| 政宗が砂金村や秋保村で川猟をしていたという記述を探している。 | 29 |
| 郡山合戦の際の郡山城とは？ | 30 |
| 今の若林区大和町は、昔どういう所だったのか？ | 31 |
| 太白区の三神峯公園にある石碑について知りたい。 | 32 |
| 民謡『新さんさ時雨』の譜面が載っている資料を探している。 | 33 |
| 仙台駅東口にあった島崎藤村の文学碑には何と書いてあったのか。 | 34 |
| 仙台市原町にある清水沼について知りたい | 35 |

過去の事例集 (2016年 Vol.4) 目 次

| | |
|---------------------------------|----|
| 「仙台時間」の定義は？ | 1 |
| 仙台糯（ほしいい）について | 2 |
| 少林（わかばやし）神社について | 3 |
| 世界遺産の富岡製糸場と白石の片倉製糸との関係は？ | 4 |
| 仙台藩の馬政史について | 5 |
| 東北の空襲による被害は？ | 6 |
| 七北田刑場で処刑された人数は？ | 7 |
| 戦時中、仙台の動物園での猛獣の処分について | 8 |
| ナマズに似た魚で「ギグバチ」「ギグバド」と呼ばれる魚は？ | 9 |
| 仙台市内で災害と関係のある地名は？ | 10 |
| 若林周辺の「イグネ」について | 11 |
| 宮城野通りにあるプレートの和歌について | 12 |
| 一高女（一女高？）の移転の経緯は？ | 13 |
| 「つつじがおか」の地名について | 14 |
| 太白区太子堂にあったこけし塔について | 15 |
| 愛子周辺で化石がとれる場所は？ | 16 |
| 七夕の短冊はなぜ5色？ | 17 |
| 伊達政宗が森林保護のために発令した制札とは？ | 18 |
| 水の森の叢塚について知りたい | 19 |
| 公文書にある鎖と節と分とは？ | 20 |
| 古生物学者になるための参考本は？ | 21 |
| 第二次世界大戦中、マレー戦で自転車部隊がたどった道は？ | 22 |
| スプーンにうつる自分の顔がさかさまなのは どうして？ | 23 |
| 石川啄木の「ふるさとの山に向かいて…」の山は岩手山？ | 24 |
| トイレトレーニングの参考になる本は？ | 25 |
| 「つなぐ」の正しい漢字は？ | 26 |
| 「火おこし」をするにあたって | 27 |
| 平安時代の甘味調味料とは？ | 28 |
| 植物標本の作り方のコツは？ | 29 |
| 「光琳笹」とはどんな笹か | 30 |
| 老人ホームで作って使える手芸の本は？ | 31 |
| ロシア民謡の「ぐみの木」は日本のぐみの木と違うのか？ | 32 |
| 妹が生まれるので、きょうだいが出てくる絵本を読んであげたい | 33 |
| 昔読んだアンデルセンの「ナマリの兵隊」は本当は「スズの兵隊」？ | 34 |

過去の事例集（2018年 Vol.5）目 次

| | |
|-----------------------------------|----|
| ソメイヨシノ（桜）の開花について | 1 |
| 「赤い羽根共同募金」で使用している「赤い羽根」は本物の鳥の羽根か？ | 2 |
| 「付箋」はどのようにくっついたり取れたりするの？ | 3 |
| 中世のロンドンで行われていた「熊いじめ」に使われていた犬は？ | 4 |
| ホップについて詳しく知りたい | 5 |
| 青菜（せいさい）の漬け物の作り方は？ | 6 |
| 歌舞伎の外郎売（ういろうり）について | 7 |
| 君が代のもととなった歌は？ | 8 |
| 京都のまつりで神輿（みこし）の上に乗っていたカマキリについて | 9 |
| 以前、子どもに読み聞かせをした絵本を探してほしい | 10 |

郷土に関する質問

| | |
|---------------------------------|----|
| 八木山にベーブ・ルースが来た時の事が知りたい | 11 |
| 八木山・向山付近の亜炭坑道について | 12 |
| 戦時中の父親の行動を知る手がかりとして配属先の部隊を調べたい | 13 |
| 仙台北城下創設期の地名と「千代」から「仙台」に変わった理由は？ | 14 |
| 仙台市青葉区錦町にある「ライト式近代建築」の建物について | 15 |
| 登米市出身の「おいじん」がモデルとなっている本は？ | 16 |
| 孫と一緒に、太平洋戦争中の仙台の様子について学びたい | 17 |
| 仙台市で高齢者の外出手段を調査した本は？ | 18 |
| 「熊野堂の昔話」の名取の老女が読みたい | 20 |
| 明治天皇の仙台巡幸時のルートは？ | 21 |
| 渡辺綱（わたなべのつな）の宮城県に関する昔話が読みたい | 22 |
| 広瀬川や七北田川の始まりから海に至るまでを子どもに説明したい | 23 |
| 仙台市政 88 周年の記念に選ばれた樹木 88 本を知りたい | 24 |

過去の事例集 (2020年 Vol.6) 目 次

| | |
|-------------------------------------|-------|
| 昭和 52 年頃、国語の教科書に掲載されていた作品を探したい | 1 |
| 国宝『瓢鮎図(ひょうねんず)』とはどんな絵画か | 2 |
| 書道の手本の和歌について、作者と内容を知りたい | 3 |
| 女兒の七五三のきものの種類を調べたい。子ども向けの資料はあるか | 4 |
| 「味覚障害には昆布茶が効く」とラジオで聞いたがどうしてか | 5 |
| 運転免許の更新時に行われる認知機能検査の内容を知りたい | 6 |
| 「年年歳歳花相似、歳歳年年人不同」の一節が入っている詩を見たい | 7-8 |
| 100 年ほど前に北海道で起きたヒグマの事件を題材にした小説が読みたい | 9 |
| 阿弥陀如来の四十八願について知りたい | 10 |
| 洗濯物は外に干すとなぜ早く乾くのか | 11 |
| 「目には目を、歯には歯を」という言葉の出典は何か | 12 |
| 「子どもの看護休暇」はなぜ年間 5 日なのか | 13-14 |
| 古い公文書に出てきた記号のような文字の意味と読みを知りたい | 15 |
| 「おつりガム」について知りたい | 16 |

郷土に関する質問

| | |
|-------------------------------------|----|
| 仙台市のマークと伊達家の家紋について知りたい | 17 |
| 山形市の霞城公園にある最上義光公騎馬像について知りたい | 18 |
| 地下化する前の仙石線と後の仙石線の様子が見たい | 19 |
| 映画「殿、利息でござる」のもとになった話を知りたい | 20 |
| 若林区で盛んだったといわれる仙台御筆づくりについて知りたい | 21 |
| 遠藤梧逸という歌人について知りたい | 22 |
| 小説『長英逃亡』で、著者が訪れた侠客元締鈴木忠吉の菩提寺を知りたい | 23 |
| かつて仙台の南町通にあった磯良神社（俗称おかっぱ様）について | 24 |
| 小説『夢見る帝国図書館』で上野動物園の象を仙台の動物園に疎開させる話 | 25 |
| 芭蕉の辻の角にあった砂糖商の若松屋が描かれている絵を見たい | 26 |
| 仙台の「災害用井戸」の状況について知りたい | 27 |
| 日本初の公開図書館といわれている青柳文庫や青柳文蔵について知りたい | 28 |
| 仙台で模範演技をした東京オリンピックの体操メダリストの新聞記事を見たい | 29 |
| 政宗が朝鮮出兵の際に持ち帰ったとされる梅と藤に関して知りたい | 30 |

本の道案内

～図書館レファレンス事例より～



令和4年3月発行

編集 仙台市図書館

発行 仙台市民図書館

〒980-0821 宮城県仙台市青葉区春日町 2-1

せんだいメディアテーク内

TEL 022-261-1585 (代)

この事例集は仙台市図書館ホームページにも掲載しています。

<https://lib-www.smt.city.sendai.jp/>

